

1 相談事例（平成 28 年 5 月～7 月末）

○ 障害者差別地域相談員の対応事例

No	障害種別	相談事例	対応状況
1	知的障害	知的障害者とその家族が、マイナンバーカードの発行に必要な暗証番号を管理できないと相談。	マイナンバー通知と身分証明書があれば、代用できることを伝えたとこ、本人と家族が納得した。
2	知的障害	知的障害者が、市の健康診断の会場を健常者と別にして欲しいと要望。	市が他市町村の状況を確認しながら今後の対応を検討中。
3	発達障害	発達障害児の保護者が、学校側に障害があることを伝え入学したが、他の生徒と同じ試験を受ける等、十分な対応を受けられないと相談。	保護者と学校と地域相談員とで協議を継続中。なお、学校もできる限りの対応をしている。
4	知的障害	知的障害者が、大型商業施設のトイレにエアタオルを設置して欲しいと要望。	本人と事業者と地域相談員とで話し合い、改善を検討することになる。一般的な要望であり、通常の相談として担当部署に引き継いだ。
5	身体障害（車いす）	個人商店主が、車いすが出入りしやすいよう店舗を改修したいと相談。	一般的な事例をもとに、スロープの設置等の改修を行った。
6	全障害者	NPO法人が、空き家を様々な障害者が自由に使える集会所として開放してほしいと相談。	建築等に関する機関に情報提供し、相談業務を引き継いだ。

○ 障害者差別解消推進員の対応事例

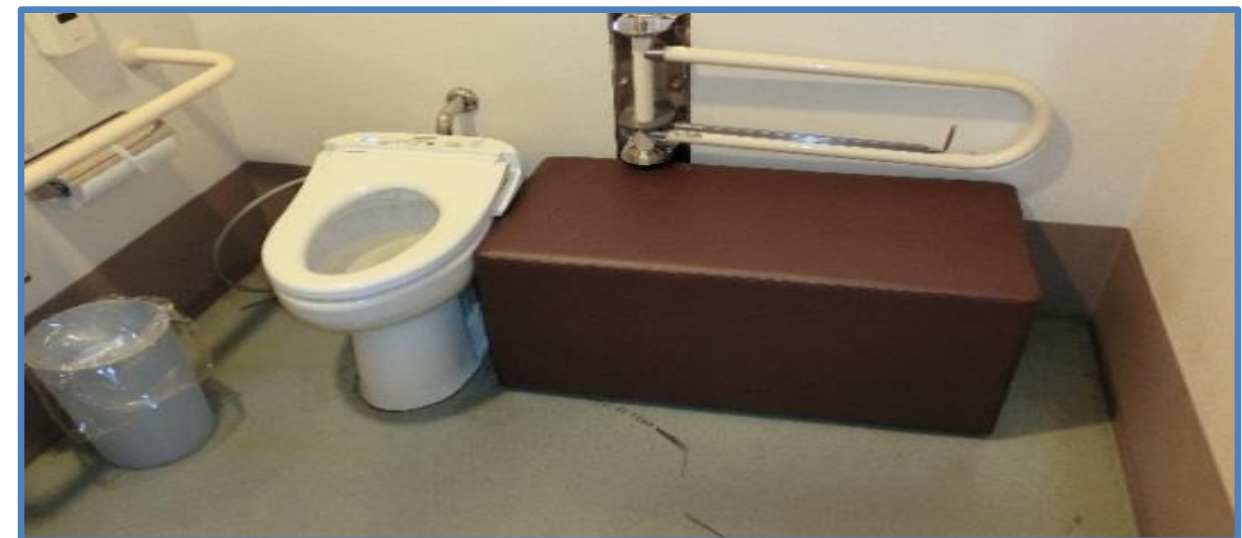
No	障害種別	相談事例	対応状況
1	身体障害（車いす）	身体障害者が、公立病院の障害者用トイレにベンチを設置して欲しいと要望。	要望を病院に伝え、ベンチが設置された（右の提供事例参照）。
2	身体障害（車いす）	身体障害者が、大型商業施設の障害者用トイレの手すりの高さや固定方法を改善して欲しいと要望。	現地を確認し、本人の主張にも一理あり、事業者に申し出るよう助言したところ、本人が事業者に申し出て改修を検討することになった。
3	身体障害（車いす）	身体障害者が、県立図書館へのページめくり機の設置を要望。	県立図書館に要望事項を伝え、検討を依頼。
4	発達障害	発達障害児の保護者が、学校側に障害があることを伝え入学したが、受入体制が整わず、十分な対応を受けられないと相談。	教育委員会における対応を依頼するとともに、教員を対象とする研修会等で事例として取り上げられた。

2 提供事例

◇ 概要「公立病院での障害者用トイレの設備に関する相談」  
 相談者は、車椅子を使用する身体障害者、月1～2回通院、身障者用トイレを使用(移乗は要介助) 障害者用トイレに長ベンチの設置を要望  
 (相談内容)  
 ・トイレ内に長ベンチの設置があると、車椅子からの便座への移乗が便利  
 ・トイレ介助のために通院時に介護者の依頼や家族に同伴してもらっている  
 ・トイレの中では一人で用を足したい。床に腰・臀部をつける必要もなく衛生的

◇ 関連事例等の調査  
 県庁、高速PA等の多目的WC = 可動式ベンチ・細長ベンチ設置  
 車いす利用者の意見等 = 最低限、可動式手すりが必要  
 公共施設における新設・増改築 = バリアフリー新法の規定に従う

公立病院へ相談内容を情報提供



身体障害者の意見を聞きながら、障害者用トイレにベンチを設置

**「合理的配慮の提供」**

建設的な対話による相互理解

身障者用トイレに「利用の上で不都合がありましたら〇〇〇まで連絡をしてください。」等の案内表示をすることも必要かつ合理的配慮への環境整備につながる